

修飾語

ねらい

●修飾語について理がわいている。

名前	組	月 日	正答数
	番		
			3

要
点
チ
ェ
ッ
ク

●修飾語

文には、主語、述語のほかに、くわしく説明する言葉があります。

くわしく説明する言葉は、「いつ・どこで・どこ(だれ・何)の・どこ(だれ・何)に・どこ(だれ・何)を・どんな・どのくらい・どのように」などにあたる言葉です。

例 わたしは、きのう、公園で遊びました。

「きのう」…いつ

「公園で」…どこで

「きのう」も「公園で」も、「遊びました」をくわしく説明しています。

例 白い犬がうろうろ歩いていきます。

「白い」…どんな

「うろうろ」…どのように

「白い」は、「犬が」をくわしく説明しています。

「うろうろ」は、「歩いていきます」をくわしく説明しています。

*どの言葉が、どの言葉をくわしく説明しているかは、二つの言葉が続けてみればわかります。

例 ひきだしの おくに いちまいの 花の 写真が ありました。

ひきだしの—おくに おくに—ありました

いちまいの—写真が 花の—写真が

問題

次の文の——線の言葉は、どの言葉をくわしく説明していますか。あとから一つずつ選びましょう。

- (1) となりの家の大きな犬がほえている。 ()
- 1 となりの 2 家の 3 犬が 4 ほえている
- (2) 美しい花がさいているのを、うっとりとながめていた。 ()
- 1 美しい 2 花が 3 さいているのを 4 ながめていた
- (3) お母さんは、わたしにいつもおいしいケーキを焼いてくれます。 ()
- 1 いつも 2 おいしい 3 ケーキを 4 焼いてくれます

修飾語 しゅうじきご



(3) (1)
4 3

(2)
4

(1)は「大きな」、(2)は「うっとりと」、
(3)は「わたしに」のすぐあとに続けて、
意味が通じる部分をさがしましょう。

修飾語

月 日

年 組

番

名前

正答数

10

マーク



① 次の——線の言葉は、どの言葉をくわしく説明していますか。あとから一つずつ選びましょう。

(1) わたしは、小さなコップで水を飲んだ。

- 1 わたしは
- 2 コップで
- 3 水を
- 4 飲んだ

(2) 白い犬といっしょに、公園まで歩きます。

- 1 犬と
- 2 いっしょに
- 3 公園まで
- 4 歩きます

(3) 美しい歌が聞こえるのを、うっとりとした。

- 1 美しい
- 2 歌が
- 3 聞こえるのを
- 4 聞いた

② 次の——線の言葉がくわしく説明している言葉をぬき出しましょう。

(1) 大きな池でつりを楽しむ。

(2) 急なできごとに、とてもおどろいた。

(3) さわやかな風が木々をゆらす。

(4) 楽しい時間はすぐに過ぎてしまう。

(5) かみなりがとつぜんピカッと光る。

(6) わたしの飼っている犬はとてもかわいい。

(7) わたしはいつもそのおばあさんを思い出す。

修飾語

2 1

(5) (1) (1)

光 池 2
る で

(2)

(6) (2)

1

か で
わ き
い ごと
い こと

(3)

に 4

(7) (3)

思 風
い が
出

(4)

時
間
は

敬語

ねらい

●敬語を適切に使うことができる。

名前

組番

月日

正答数

4

要点チェック

●敬語：聞き手や読み手、話の中の人をうやまう言葉。

① ていねい語

- ・文の終わりに「です・ます」などを使う。 **例** わたしがやります。
- ・言葉の前に「お・ご」をつける。 **例** お金

② 尊敬語

- ・「れる・られる」を使う。 **例** 先生が話される。 ↑先生が話す。
- ・「お……になる」を使う。 **例** 先生がお話しになる。 ↑先生が言う。
- ・特別な言葉を使う。 **例** 先生がおっしゃる。

*覚えておきたい尊敬語

行く・来る……………いらっしゃる
 いる……………おいでになる
 言う……………おっしゃる
 食べる・飲む……………めしあがる

見る……………ご覧になる
 する……………なさる
 くれる……………くださる

③ けんじょう語(ていねい語と合わせて使われることが多い。)

- ・「お……する」を使う。 **例** わたしが**お**伝え**し**ます。
- ・特別な言葉を使う。 **例** 明日、三時に**う**かが**い**ます。

*覚えておきたいけんじょう語

行く・来る……………まいる
 いる……………おる
 言う……………申し上げる
 食べる・飲む……………いただく

見る……………**拝**見**す**る
 する……………いた**す**
 あたえる……………さ**し**あ**げ**る

問題

次の——線の言葉を、下の()の言い方に直しましょう。

- (1) 昨日、先生がうちに来た。(尊敬語) ()
- (2) 先生の作品を見た。(けんじょう語) ()
- (3) 先生は職員室にいる。(尊敬語) ()
- (4) ぼくがやります。(けんじょう語) ()

敬語

- (1) いらっしゃった
(おいでになった・来られた)
- (2) 拝見した
- (3) いらっしゃる(おいでになる)
- (4) いたし

POINT

- (1) 「れる・られる」を使っても、特別な言葉を使っても正解です。
- (2) 「見る」の尊敬語は「ご覧らんになる」ですが、けんじょう語は「拝見はいけんする」です。二つ合わせて覚えておきましょう。

敬語

正答数

13

マーク



月

日

年

組

番

名前

① 次の文に使われている敬語の種類を、それぞれ「ていねい語」「そんけい語」「けんじょう語」から一つ選んで書きましょう。

- (1) 先生がお見えになる。
- (2) わたしが書類をお配りします。
- (3) これはとてもすばらしい絵です。

② 次の——線の言葉を「そんけい語」に直しましょう。

- (1) 先生はもう帰りました。
- (2) どうぞ、夕食を食べてください。
- (3) この絵を見てください。
- (4) 今日はお客様が来ます。
- (5) 先生が言うことをよく聞く。

③ 次の——線の言葉を「けんじょう語」に直しましょう。

- (1) わたしも駅まで行きます。
- (2) お客様を見送しましょう。
- (3) では、夕食を食べましょう。
- (4) わたしの意見を言います。
- (5) 父が先生に会います。

敬語^{けいご}

- | | | |
|---------------------|-------------|-------------|
| 3 | 2 | 1 |
| (4) (1) (4) (1) (1) | (1) (1) (1) | (1) (1) (1) |
| 申し(申し上げ) | 参り(うかがい) | そんけい語 |
| (5) (2) (5) (2) (2) | いらっしゃいます | お帰りになり(帰られ) |
| お目にかかり(お会いし) | お見送りし | けんじょう語 |
| | いただきます | めし上がって |
| | | おっしゃる |
| | | ていねい語 |
| | | ござらん |

同音・同訓の漢字

名前

組番

月日

正答数

4

ねらい

●同音・同訓の漢字を使い分ける。

要点チェック

●同音異字……同じ音をもつ別の漢字。

例 「合」と「号」(どちらも「ゴウ」という音読みをもつ同音異字)

「関」と「感」(どちらも「カン」という音読みをもつ同音異字)

「問」と「門」(どちらも「モン」という音読みをもつ同音異字)

●同訓異字……同じ訓をもつ別の漢字。

例 「合う」と「会う」(どちらも「あ(う)」という訓読みをもつ同訓異字)

「治る」と「直る」(どちらも「なお(る)」という訓読みをもつ同訓異字)

「帰る」と「返る」(どちらも「かえ(る)」という訓読みをもつ同訓異字)

例題

次の()の中の漢字のうち、正しいほうを○で囲みましょう。

1 絵に(感・関)心がありますか。

2 弟のかいた絵に(感・関)心しました。

◇考え方◇

どちらも「カン」という音読みです。「感心」は「心に深く感じること」、「関心」は「興味をもつこと」です。

答え 1 関 2 感

問題

次の文の——線を漢字にするとき、正しいものをあとから一つずつ選びましょう。

(1) ブローチをむねにとめる。

1 止 2 留

(2) 病気が早くなおることをいのっています。

1 治 2 直

(3) 家にかえったら宿題をしなさい。

1 帰 2 返

(4) 夏休みに入って、早起きの習かんがいった。

1 間 2 刊 3 慣 4 管

〔 〕

〔 〕

〔 〕

〔 〕

同音・同訓の漢字



(4) (3) (2) (1)
3 1 1 2

- (1) 「止める」は動きをとめる、「留める」は物などを固定するという意味です。
- (2) 病気がなおる、というときは「治」を使います。
- (3) 自分の家などにかえるときには「帰」を使います。
- (4) 同じことをくり返して、親しみなれるときには「慣」を使います。

同音・同訓の漢字

正答数

15

マーク



月 日 年 組 番

名前

① 次の文の（ ）の中の漢字のうち、正しいほうを○で囲みましょう。

- (1) スポーツが(得・特)意な兄にサッカーを習う。
- (2) ここにあなたが来るなんて、(以・意)外ですね。
- (3) (協・共)力して作業をしてください。
- (4) (団・断)結してがんばります。
- (5) クラスに新しい(仲・中)間が加わる。

② 次の——線を漢字に直すとき、正しいものをあとから一つずつ選びましょう。

- (1) 川の流|れが|は|や|い。
1 早 2 速 ()
- (2) 窓|から|日|が|さ|して|きた。
1 差 2 指 ()
- (3) テニ|スの|試|合|で|と|な|りの|ク|ラ|ス|に|や|ぶ|れた。
1 敗 2 破 ()
- (4) は|ず|か|し|さ|で|顔|が|あ|か|ら|んだ。
1 明 2 赤 ()
- (5) この|席|は|あ|いて|い|ます|か。
1 開 2 明 3 空 ()

③ 次の——線の漢字がまちがっているときは正しいものに直し、正しいときは○を書きましょう。

- (1) 新|しい|ペ|ット|に|名|前|を|着|ける。 ()
- (2) 今|年|の|夏|は|と|て|も|熱|い|ね。 ()
- (3) 犯|人|が|や|つ|と|姿|を|現|した。 ()
- (4) 私|が|母|の|代|わ|りに|参|ります。 ()
- (5) 葉|が|聞|いて|熱|が|下|が|つ|た|よ|う|だ。 ()

同音・同訓の漢字

3 **2** **1**

(1) (1) (1)

付 2 得

(2) (2) (2)

暑 1 意

(3) (3) (3)

○ 1 協

(4) (4) (4)

○ 2 団

(5) (5) (5)

効 3 仲